

第9回潟上市議会報告会

みんなのギカイ 市民との意見交換会実施要領に基づく報告事項

「議会と議員にモノ申す」についての要望事項

- ・行政に対し要望を出した後に「検討する」と回答があるが、もう少し見えるような形でもう一度当局に伝えてほしい。

【回答】

議会及び議員各位に対し、市民から当該要望が寄せられましたことについて、市当局としても承知しました。

市民からの意見、要望等は、市の機関にとって市民ニーズを把握することができる大切なものです。寄せられた意見、要望等に対しては速やかに調査又は検討を行い、その結果と経過につきましては、今後も丁寧な説明に努めてまいります。

「高齢化時代をどう生きるか」についての要望事項

- ・運転免許証返納後のアクセス道について、追分出張所→三軒屋→出戸新町→細谷→棒沼台→本庁を結ぶマイタウンバスの運行は。

【回答】

追分・出戸地区を通過するバス運行（またはデマンド型乗合タクシー）については、追分駅付近を起点に市道二田追分線から出戸地域を經由し、市役所・天王グリーンランドを目的地とした路線を検討しており、乗降場所、運行本数等について関係機関と協議を進めております。また、運行形態はデマンド型乗合タクシーまたは小型車両による定時定路線のマイタウンバスのいずれかとし、現在は運行経費の比較検討を行うとともに、国等の活用できる補助事業がないかなどの検討を行っている状況にあります。

今後はより詳細な運行実施計画案を作成し、潟上市地域公共交通活性化協議会で協議・承認を経て、事業計画を運輸支局に提出し、運行許可を得ることで実証運行が可能となります。実施時期については周知期間等も考慮し、31年10月からの実証運行開始を目指しております。

「子育て支援を考える」についての要望事項

- ・ 出戸新町ことぶき荘、コミュニティセンターの利用状況は、子どもたちが年間 4,600 人利用されている。子どもたちの指導できる人材派遣はできないものか。

【回答】

現在、子どもたちを指導できる人材としては3地区にあります児童館の児童厚生員となっており、その他の施設には常駐しておりません。また、子どもたちを指導できる人材派遣も今のところ行っておりません。ただし、地域で実施する子どもに関する事業の講師派遣などの相談は、文化スポーツ課へご連絡ください。

「みんなで支える地域社会」についての要望事項

- ・ 高齢者に対し、通えるところに集まってもらう「いきいきサロン」を立ち上げているが、通えない方には隣近所の人を車に乗せてきてもらっている。万が一事故が起こってしまった場合の責任問題の可能性もあるため、どうすれば通えない方を集めることができるか。

【回答】

「いきいきサロン」は、60歳以上の方を対象に、閉じこもりを解消し、仲間づくりを通じていきがいを持ってもらうことを目的に、社会福祉協議会のサロン開催助成金（年間5,000円）を活用して、現在、近くの集会所など歩いて参加できる市内の38か所を会場に、参加者による自主的な運営により開催されております。

市では、これらの事業を支援するため、昨年度より、高齢者の日常生活上の生活体制づくりの推進を目的として、社会福祉協議会に生活支援コーディネーターを配置し、地域資源の開発、関係機関とのネットワーク化等に取り組んでいるところでありますので、ご相談いただければと思います。

- ・出戸新町ことぶき荘、コミュニティセンターの利用状況をさらに充実したものにするには、行政のバックアップが必要である。昭和・飯田川は全施設に管理人がいるが、そのようにはできないものか。

【回答】

昭和・飯田川は全施設に管理人がいるとありますが、全施設に常駐している管理人がいるわけではなく、鍵の管理をしている施設もございますので、現体制で、施設をご利用くださいますようお願いいたします。

なお、出戸新町ことぶき荘については、地元自治会より管理人さんを選任していただいております。施設の維持管理等を行っています。